

## 令和5年7月臨時教育委員会会議録

日 時	令和5年7月28日（金） 午後2時30分～午後4時56分
場 所	秦野市役所教育庁舎3階大会議室
出席委員	教育長 佐藤 直樹 教育長職務代理者 小泉 裕子 委員 片山 恵一 委員 牛田 洋史 委員 飯田 文宏
欠席委員	なし
委員以外 の出席者	教育部長 原田 真智子 教育指導課指導主事 内藤 誠 教育総務課長 守屋 紀子 教育総務課課長代理 三川 辰徳 教育指導課長 関野 貴之 教育総務課主査 廣田 達也 教育指導課課長代理 安藤 淳
傍聴者	15名
会議次第	<p>7 月 臨 時 教 育 委 員 会 会 議</p> <p>日 時 令和5年7月28日（金） 午後2時30分</p> <p>場 所 秦野市役所教育庁舎3階大会議室</p> <p>次 第</p> <p>1 開 会 2 議 案 (1) 議案第13号 令和6年度に使用する小学校の教科用図書の採択 について (2) 議案第14号 令和6年度に使用する中学校の教科用図書の採択 について (3) 議案第15号 令和6年度に使用する学校教育法附則第9条によ る教科用図書の採択について 3 その他 4 閉 会</p>
会議資料	別紙のとおり

佐藤教育長

皆さんこんにちは。お暑い中、お集まりいただきましてありがとうございます。それでは、ただいまより臨時教育委員会会議を開催させていただきます。お手元の会議次第に沿って進めさせて

いただきます。

今回の会議は、議案第13号「令和6年度に使用する小学校の教科用図書の採択について」、議案第14号「令和6年度に使用する中学校の教科用図書の採択について」及び議案第15号「令和6年度に使用する学校教育法附則第9条による教科用図書の採択について」の3本となります。

では、まず議案第13号「令和6年度に使用する小学校の教科用図書の採択について」、提案理由の説明を事務局からお願いします。

教育指導課長

それでは、議案第13号「令和6年度に使用する小学校の教科用図書の採択について」の御説明をいたします。

本議案は、義務教育諸学校の教育用図書の無償措置に関する法律第13条第1項の規定により、令和6年度に使用する小学校の教科用図書を採択していただきたく提案するものでございます。

本年5月の定例教育委員会会議にて議決していただきました採択基本方針に従って、秦野市教科用図書採択検討委員会を設置し、採択に向けた調査検討を行いました。この検討委員会は、第1回を5月11日に開催し、調査研究の進め方などについて協議をしました。第2回は7月3日に開催いたしまして、調査員からの教科用図書の調査研究結果の報告を受け、令和6年度に小学校で使用する教科用図書についての検討を行いました。この検討結果については、報告書として教育委員会に提出され、教育委員の皆様にもお渡しさせていただきました。

本日の会議においては、まず、採択検討委員会の検討結果を御報告申し上げます。その後、協議の上、13種目それぞれ1者の教科用図書を採択していただきたいと思っております。

以上です。

佐藤教育長

今、事務局から説明がありましたけれども、採択の進め方ですが、まず、小学校で使用する教科用図書について、種目ごとに事務局より説明をいただいて、それを受けて教育委員の皆様で協議をし、その後、記名による投票を行いまして、得票数が一番多かった1者に決定するという方法で進めていきたいと思いますが、いかがでしょうか。

—異議なし—

佐藤教育長

では、委員の皆様には既に教科書をよく御覧になっていただいている各教科について、採択すべき教科書を決めておられると思っておりますけれども、事務局の説明を聞いた上で、意見交換、議論をしていただいて、投票で決定したいと考えております。

なお、票がもし割れた場合、最も多い得票でも、過半数を超える3票まで至らなかった場合には、再度の意見交換、そして議論をしていただき、再投票を行うことにしたいと思いますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

—異議なし—

佐藤教育長 では、投票することとなりましたので、立会人の方を指名したいと思います。小泉教育長職務代理に立会人をお願いしたいと思っておりますが、皆様、よろしいですか。

—異議なし—

佐藤教育長 それでは、小泉委員に立ち会いをお願いしたいと思います。また、全ての種目が完了した時点で、第13号議案をお諮りし、議決することにしたいと思います。それでよろしいですか。

—異議なし—

佐藤教育長 それでは、早速議事に入りたいと思います。最初に、小学校の国語から審議をいたしますので、事務局から説明をお願いします。

教育指導課長 国語についてお願いいたします。国語は、発行者が3者になります。教科用図書採択検討委員会の報告では、次のような意見がありました。

どの教科書もレベルが高い。

どこを重視するかというところで、ICTの活用については、ただ見て、自主学習ができるだけでなく、活用の仕方や次に生かしているような要素を重視したい。

東京書籍は、学習の流れが丁寧に書かれている。光村図書では、考えるための問いがちりばめられている。東京書籍には、先生方にとっては扱いやすいが、考えるという点ではどうか。

教育出版は、6学年とも上下巻に分かれていて、重さに考慮している。

東京書籍は、最近のものを教材として取り上げている。光村図書は、オールマイティーな教材が載っている。以上です。

佐藤教育長 これが教科用図書採択検討委員会の報告書の主な意見ということですね。

以上の説明ではありますが、まず、委員の皆さんから御意見、御質問等あればお願いしたいと思います。いかがですか。

小泉委員 3者とも工夫がよくされて、昔の教科書に比べて、どの教科書

も「自ら学ぶ」という形になっているなど感じました。その分、情報量が多くなっているという印象があります。子どもたちが活用して学習していけるとよいと思いますけれども、一方で、情報量の多さに圧倒されてしまう子どももいるかもしれません。質と量のバランスには配慮したいところです。そういった観点から見ると、東京書籍、光村図書は、バランスのとれた教科書だと感じました。

片山委員

おっしゃるとおり、自ら学ぶということが重要であると思います。そう考えますと問いが大切になってくると思います。そういった観点から見ますと、個人的ですが、光村図書の問いの扱いは、子どもが考えて、自ら学ぶような問いになっていると思いました。

佐藤教育長  
飯田委員

今、御意見をお二方からいただきました。ほかにいかがですか。ここ数年、子どもたちの読書離れという声を耳にしますが、この教科書会社も本の紹介がされているのですね。その中で、東京書籍だと思うのですが、「本は友だち」というタイトルで、本棚に本が飾られているようなレイアウトになっていたと思います。子どもが選んで取るような工夫がされているのかなという感じを受けました。

そしてまた、「ことばそうだんしつ」というページがあったのですが、子どもたちが学びやすく、よく考えて作られているなど感じました。

以上です。

佐藤教育長

そこに教科書が並んでいるのは、見せてもらうことは可能ですか。では、東京書籍の教科書を持ってきてもらってもいいですか。私も、全部目を通しましたけれども、東京書籍に今の「ことばそうだんしつ」というページがあるということですが、どうですか。

この「ことばそうだんしつ」は、どの巻にもあるということですか。それとも、巻によってなのかな。これですね。ありがとうございました。分かりました。

全部の教科書を見たいところですが、なかなか難しいと思うので。すみません、お手数をおかけしました。

私は、ここでは教科書を大事にして授業を進めるのが基本になると思っています。ただ、今は「教える」から「学ぶ」ということで、授業のスタイルが変わってきているのは、我々も学校のほうには話をしていますので、先生方にとって授業しやすい教科書であると同時に、先ほどもおっしゃっていましたが、子どもたちが問いを持って学びやすい教科書であること、私はこの部分は

非常に大事かと思っています。

すみません、私が途中で口を挟んでしまいました。そのほか、いかがですか。

牛田委員

私も3者の教科書を拝見させていただきました。それぞれについて私が思った感想を紹介したいと思いますが、まず、東京書籍は、学習の進め方がとても丁寧に説明されているな、そんな印象を持ちました。あと、ノートの使い方を紹介しているので、教師としても、子どもたちにとって、何をどのように学ぶかというのが分かりやすくてよいのかな、そんな印象を持ちました。

それと、教育出版についてですが、新出漢字の書き順が巻末に置いてある教科書が比較的多いのですけれども、教育出版の場合には、ページの下に書かれていて、授業で扱うのにはとても便利かな、そんな印象を持ちました。

光村図書は、6年生の巻末に「言葉の宝箱」というページがありまして、今、自分の気持ちを表現するのがとても苦手な子が多いので、心情を表現する言葉を学んでいくためには、とても参考になるのではないかという印象を感じました。

いずれにしても、どの教科書もよくできていて、あとは、子どもたちが何をどう学んでいくか、どのように授業を組み立てていくのか、そういったところがポイントになろうかと思っています。

以上です。

佐藤教育長

御意見いただきました。

一通り皆さんも事前に見ていただいてということですので、では、ここで投票に入らせていただきます。よろしいですか、早速投票に入りたいと思います。

それでは、国語についての投票を行いたいと思います。事務局で投票用紙の配付をお願いします。

—投票—

佐藤教育長

よろしいですか。

それでは、開票をお願いします。

—開票—

教育指導課長

開票の結果を御報告いたします。

小泉教育長職務代理「光村図書」、片山委員「光村図書」、飯田委員「東京書籍」、牛田委員「東京書籍」、佐藤教育長「光村図書」。

佐藤教育長

国語につきましては、光村図書3票、東京書籍2票、以上です。

光村図書が3票、東京書籍が2票。

それでは、開票の結果、小学校国語につきましては、光村図書

教育指導課長	<p>に決定いたしました。</p> <p>それでは、続いて小学校の書写について審議を行います。事務局から説明をお願いします。</p> <p>書写の発行者は3者になります。</p> <p>採択検討委員会の報告では、次のような意見がありました。</p> <p>左手の持ち方について、東京書籍は写真が大きく掲載されていてよい。</p> <p>登場人物の男女比などでも各者配慮されている。</p> <p>左手の持ち方などは、物理的に机の上がいっぱいなので、タブレットを見ながらでなく、教科書に掲載されているとよい。</p> <p>各者で国語との連携具合が違うが、同じほうが望ましい。</p> <p>光村図書は、国語との連携が強く、国語と揃うとよりスムーズになる。</p> <p>以上です。</p>
佐藤教育長	<p>以上、説明がございましたが、御意見、御質問等あればお願いしたいと思います。</p>
片山委員	<p>どちらも非常に意欲的であると個人的に感じました。ただ、光村図書が一見分かりやすいというか、教材が見開き1ページで構成されているのかなという気がしました。あと、特に3年生に付いている別冊の「毛筆スタートブック」ですか、あれは初めて毛筆をたしなむ生徒、3年生にとっては、使いやすいのではないかと思います。</p>
佐藤教育長 飯田委員	<p>ほかはいかがでしょうか。</p> <p>私も光村図書ですが、光村図書には、1年生に「しょしやすた一とぶっく」というのが付いていまして、初めて書写の学習をする子どもたちにとっては、丁寧に学習を進めていく上で分かりやすいかなと感じました。</p> <p>以上です。</p>
佐藤教育長 牛田委員	<p>ほかはいかがでしょうか。</p> <p>それぞれ特色があつてよい教科書だと思います。感想ですが、東京書籍は、書き始めや上がり、はね、はらい、そういった解説がとても分かりやすいなと思いました。一方で、国語の教科書との連携というのが、これまた大事だということだと思っています。その点、光村図書の教材、書写を広めたいという部分については、国語の教科書との連動性が高いのかな、そんな印象を持ちました。</p> <p>以上です。</p>
佐藤教育長 小泉委員	<p>ほかはいかがでしょうか。</p> <p>私も、どの出版者も子どもたちの目線に立った分かりやすい教</p>

科書だなと思いました。ただ、教科書との連動性の高さで見ると、やはり光村図書が高いのかなと感じました。各者とも国語との連携は扱っているのですけれども、検討委員会の意見にもありましたように、国語の教科書と教材が連動するよさを考慮すると、光村図書がよいかなと思います。

佐藤教育長 一通り御意見はいただいたのですが、何か加えてということがありますか。

佐藤教育長 ー特になしー  
よろしいですか。

佐藤教育長 手で書くということは、デジタルトランスフォーメーションが進む中でも、やはり引き続き大事にしていきたいと思いますよね。  
よろしければ投票に移りたいと思います。投票に移ってもよろしいですか。

佐藤教育長 ー異議なしー  
それでは、書写についての投票を行います。投票用紙の配付をお願いします。

佐藤教育長 ー投票ー  
それでは、開票をお願いします。

教育指導課長 ー開票ー  
開票の結果を報告いたします。

佐藤教育長 小泉教育長職務代理「光村図書」、片山委員「光村図書」、飯田委員「光村図書」、牛田委員「光村図書」、佐藤教育長「光村図書」。  
書写につきましては、光村図書5票、以上です。  
光村図書5票ということですが、開票の結果、書写につきましては、光村図書に決定いたしました。

教育指導課長 それでは、続いて小学校の社会について審議を行います。説明をお願いします。  
社会の発行者は3者になります。  
採択検討委員会の報告書では、次のような意見がございました。  
「書く」「調べる」「まとめる」の流れが示されていて、東京書籍は「生かす」、日本文教出版は「掘り下げる」がある。  
教育出版は身近なところが多く載っており、そこから学びやすいのではないかと。  
教科書に載っている内容が、県内であっても身近ではないこともある。市のことは市作成の教材で補える。  
教育出版は、ICTを活用した表現活動が載っていてよい。  
SDGsの観点について、日本文教出版は、巻末にシールがあ

って、主体的に学べる。  
以上です。

佐藤教育長 以上の説明があったわけですが、御意見、御質問等ありましたらお願いいたします。

牛田委員 東京書籍についてですが、高学年から分冊になっていて、特に6年生では、内容構成が公民と歴史に分かれている、この点は、中学校の社会科の教科書に通じるものがある、私は親しみやすさを感じました。  
教育出版は、3年生では、神奈川県がとても多く掲載されて紹介されているなと思いました。私たちの住んでいる市・町について学ぶときに、やはり身近なじみのある場所が題材になっているのは、興味を持つきっかけになるのではないかと、そんな印象を持ちました。  
以上です。

片山委員 私は、教育出版が、横浜のことが大々的に取り上げられていて、子どもたちに、神奈川県ということで主体的に学ぶ機会が与えられるのではないかと思います。  
あと、4年生で、相模川でしたか、あと箱根細工や、6年生では関所のことなども施設紹介されていて、少し親しみが湧いてきました。  
以上です。

佐藤教育長 やはり神奈川県の題材というところが身近かもしれないですけどね。

飯田委員 今のその視点でいくと、教育出版の6年生の、たしか44ページだったかな、秦野市の施設が載っていたので少しびっくりしたのですが。

佐藤教育長 44ページと、具体的に飯田委員に調べられているので、もしよかったら教育出版の社会科の教科書をお願いします。

飯田委員 移住を体験できるということで紹介されていました。秦野のことが取り上げられていると、子どもたちはとてもそれに興味を持って、いいことかと思っております。  
それと、検討委員会の中にあっただと思うのですが、日本文教出版の巻末にあるSDGsのシールですが、これは、子どもたちが、「これはどこに貼るのかな」などと考えながら、SDGsというものに関心を持つきっかけになるのではないかと思います。  
以上です。

佐藤教育長 これ、載ったのは初めてですか。あまり記憶にないですからね。ほかはいかがでしょうか。



小泉委員

日本文教出版は、このSDGsのシールですね。

SDGsの観点で言うと、各者とも工夫されているという印象を持ちました。先ほどもSDGsのシールの話が出ておりましたけれども、その中でも、私は教育出版が江戸時代のリサイクルについても取り上げられていて、現在の自分たちの暮らしにもつなげやすいのかなと感じました。また、SDGsの視点を持つと同時に、これまでの日本の暮らしや生活の知恵を知ることにもつながるのではないのでしょうか。

佐藤教育長

SDGsの観点について、シールを用いて、本当にどこの教科書会社も工夫しているのがよく分かりますね。

ほかにございますか。御意見はよろしいですか。

それでは、投票に移りたいと思います。よろしいですか。

—異議なし—

佐藤教育長

それでは、投票に移りたいと思います。投票用紙の配付をお願いします。

—投票—

佐藤教育長

それでは、開票をお願いします。

—開票—

教育指導課長

開票の結果を報告いたします。

小泉教育長職務代理「教育出版」、片山委員「教育出版」、飯田委員「教育出版」、牛田委員「教育出版」、佐藤教育長「教育出版」。

社会につきましては、教育出版5票、以上です。

佐藤教育長

教育出版5票ですね。

それでは、開票の結果、小学校社会につきましては、教育出版ということで、決定いたしました。

それでは、続いて、小学校の地図について審議を行います。説明をお願いします。

教育指導課長

地図の発行者は2者となります。

採択検討委員会の報告書では、次のような意見がございました。

3年生から使うので、帝国書院は、はじめにやさしい地図が掲載されていてよい。

地図帳は、付加情報よりも地図の見やすさが一番大切だと思うので、帝国書院は見やすい。

東京書籍は、情報量が多く、中学生でもよい量に思われる。

授業中で地図を使い切るのはなかなか難しい。

地図帳だけの授業ではないのであれば、ある程度シンプルなほうが使いやすくよいのではないかと。

佐藤教育長  
飯田委員

以上です。

説明がございました。御意見、御質問あればお願いします。

地図に関しては2者ということで、東京書籍のほうは、全体の情報量がすごく多いのはよい点でもあると思うのですが、地図帳を読み慣れない3年生に重点を置くとどうか、という感想は持ちました。

あと、帝国書院のほうは、3年生の学習というところですが、読み取りやすいように、ある程度要素を厳選した地図からスタートしていました。4年生からは詳しい地図になっていくという発達段階に配慮されているのは、本当に学びやすく、教えやすいのではないかと思います。

以上です。

佐藤教育長

はい。発達段階ということですね。

ほかはいかがですか。

小泉委員

東京書籍は、近年多発している自然災害、防災について、折り込みにして複数の写真や図表を用いているのは、学ぶ上ではよいのかなと思いました。

帝国書院は、色合いがはっきりしていて、地図が見やすいので、全体として読み取りがしやすいのかなと感じました。

佐藤教育長

色合いがはっきりしているということですね。私も少しそういう感じを受けました。

ほかはいかがですか。

牛田委員

まず、帝国書院ですが、初めて地図を使う子どもたちがスムーズに地図を使えるように、地図の約束ですとか、あるいは地図帳の使い方が段階的に掲載されています。この解説の仕方がとても分かりやすいなという印象を持ちました。

東京書籍は、キャラクターがガイドするような形で地図の基本を説明しているのですね。その点、子どもたちが楽しく地図帳を使い始められる、そんな工夫がされているなという印象を持ちました。

私としては、そういったそれぞれのよさがあるのですけれども、子どもたちへの分かりやすさや段階的に地図の使い方を身につけていくという点においては、帝国書院の説明がよいかな、そんな感想を持っています。

佐藤教育長  
片山委員

どちらも工夫されているというのがよく分かりますね。

私も、どちらもよくできていると思うのですが、東京書籍は、イラストが非常に豊富だな、これは特徴だなと感じます。ただ、そのイラストが少し目立ち過ぎるのかなという気がして、

佐藤教育長

少し地図全体が見えにくいように感じました。

帝国書院は、情報を絞っているのか、地図そのものが見やすいと個人的には思いました。

皆さん、こういうお話をいただいたのですが、追加で何かありますか。大丈夫ですか。

それでは、早速投票に入りたいと思います。よろしいですか。

—異議なし—

佐藤教育長

では、地図について投票を行います。投票用紙の配付をお願いします。

—投票—

佐藤教育長

それでは、開票をお願いします。

—開票—

教育指導課長

開票の結果を報告いたします。

小泉教育長職務代理「帝国書院」、片山委員「帝国書院」、飯田委員「帝国書院」、牛田委員「帝国書院」、佐藤教育長「帝国書院」。

地図につきましては、帝国書院5票、以上です。

佐藤教育長

帝国書院5票ということで、開票の結果、小学校の地図については、帝国書院に決定させていただきます。

では、小学校算数について審議を行います。説明をお願いします。

教育指導課長

算数の発行者は6者になります。

採択検討委員会の報告書では、次のような意見がございました。

教育出版は、「めあて」をあえて示さないことで、子どもに気づかせるようになっている。

東京書籍は、単元の最初が工夫されていて、考える部分が次のページになっている。

小数の学習の導入にデシリットルを扱うのは、実生活になじまないのではないか。教育出版では使っていない。

授業は、分かる子どもペースで進んでしまう。

めあてと、まとめがあると流れがよい。

学期末のまとめが多いと負担になりかねない。大日本図書、日本文教出版、東京書籍は、やってもやらなくてもよいという記載がある。

以上です。

佐藤教育長

色々な意見が出ていますね。以上の説明ではありますけれども、御意見、御質問、こちらもいただきたいと思います。いかがでしょうか。

牛田委員

私は、6者ありましたけれども、日本文教出版、それから大日本図書、啓林館について、それぞれ感想を紹介したいと思います。

まず、日本文教出版は、「めあて」が明確にされていて、その都度まとめが設けられている、そんなページ構成でした。そういう意味では、学びの場が1つの特集ごとに完結するようなつくりになっているのだなということを感じました。

大日本図書は、レイアウトの構成がとても見やすく、使いやすい印象を受けました。それと、巻頭に「算数の大切な考え方」というコーナーがありまして、こうやって問題解決に使える見方、考え方についてまとめられるようなページもあるので、それもまたよかったかなという印象を持ちました。

最後に啓林館ですが、全体的に本当によくまとまっています。学習のポイントがよく整理されていて、とても分かりやすく編集されているなという印象がございました。

以上です。

佐藤教育長  
片山委員

ほかはいかがでしょうか。

私も、「めあて」があったほうがいいのかという考えがあって、その視点で言いますと、啓林館のめあてにつながる子どもたちの問いや気づきが「めばえ」としてマークがつけられていたと思います。これはなかなかいいなと思いました。また、啓林館の問題の横に、よくある間違いを取り上げて二次元コードで示されていますので、解説スライドを見て、子どもたちが自分で確認できるかなということ、これはなかなかいい教科書だなと思いました。

佐藤教育長  
飯田委員

ほかはいかがですか。

私も啓林館ですが、啓林館は、巻末に掲載されている学びをつなげようというのが、とても整理されていて分かりやすいなという印象を受けました。また、6年生の教科書にあるショートインタビューで「未来へのとびら」というのがあったのですが、今、子どもたちが学んでいる算数が、将来どんな職業、そして仕事に役に立つのか、そういうものが分かるのでいいなという感想を持ちました。

以上です。

牛田委員  
佐藤教育長

私も「未来へのとびら」が、非常にいいと思いました。

啓林館の教科書に「未来へのとびら」ってありますか。

私が感じたのは、子どもたちが学習したことを実生活や社会につなげていくことは、「教える」から「学ぶ」への転換ということにつながるのですかね。キャリア教育につながるので、視点と

しては大切かなど。

この「お仕事インタビュー」というところですかね。なるほど。ほかはいかがですか。

小泉委員 私は、教育出版に注目しています。教育出版では、問題を扱う数や単位の設定が、子どもたちにとって分かりやすいものを使っているなという印象を受けました。また、「不思議なパスカルの三角形」など、子どもたちが興味を引くような工夫をされているなど感じました。

佐藤教育長 私も、教育出版のめあてという形で、教育出版はあえて触れていないで、子どもたちから問いの連続ですか、生まれてくる問いを学習で進めていく流れというのが、先ほど言った、教えられるのではなくて、自ら学ぶという視点では重要だと思ったのですけれども。単元の導入部で、子どもたちにとって身近な題材のほうから試行錯誤していく流れも、私は、教育出版はかなりそこが秀逸かと思いました。

ほかはいかがですか。よろしいですか。

では、投票に移りたいと思います。よろしいですか。

—異議なし—

佐藤教育長 それでは、算数について投票を行いますので、投票用紙の配付をお願いします。

—投票—

佐藤教育長 では、開票をお願いします。

—開票—

教育指導課長 開票の結果を報告いたします。

小泉教育長職務代理「教育出版」、片山委員「啓林館」、飯田委員「啓林館」、牛田委員「大日本図書」、佐藤教育長「教育出版」。

算数につきましては、教育出版2票、啓林館2票、大日本図書1票、以上です。

佐藤教育長 教育出版2票で、啓林館2票で、大日本図書1票ということは、これはもう一回投票するということですね。

ですので、はじめに確認したとおり、再投票という形でよろしいですか。

—異議なし—

佐藤教育長 では、再投票を行う前に、もう一度、何か御意見があれば思っていますか、何かございますか。

大丈夫ですか。

事務局、大丈夫ですか。

佐藤教育長

では、再投票ということで、投票用紙の配付をお願いします。  
—投票—

教育指導課長

では、お願いします。

—開票—

開票の結果を報告いたします。

佐藤教育長

小泉教育長職務代理「教育出版」、片山委員「啓林館」、飯田委員「啓林館」、牛田委員「啓林館」、佐藤教育長「教育出版」。算数につきましては、啓林館3票、教育出版2票、以上です。それでは、開票の結果、小学校算数につきましては、啓林館に決定いたします。

1時間経ちましたけれども、続けてしまっていていいですか。委員の皆さん、大丈夫ですか。

佐藤教育長

—異議なし—

では、続けます。小学校理科に移ります。

小学校理科について審議を行いますので、事務局から説明をお願いします。

教育指導課長

理科の発行者は6者になります。そのうち、信州教育出版社からは、見本が本市及び近隣市町には届きませんでした。

採択検討委員会の報告書では、次のような意見がありました。

実験用具の取り扱いについて巻末にあるものが多いが、使いにくくはないか。

教育出版は、裏表紙に安全のための記載がある。

どの教科書も同じような構成になっている。

学校図書は、裏表紙でSDGsとの関連が掲載されていて、総合的な学習の時間とつなぎやすいが、単元の中にもあるとよい。

大日本図書や東京書籍は、いきなり結論ありきではなく、流れが見やすい。

A4判で大きいものもよいが、他の教科書と同じ大きさのほうが使いやすいという視点もある。

以上です。

佐藤教育長

説明がありましたが、御意見、御質問等ありましたらお願いします。

小泉委員

私は、学校図書と教育出版の流れが分かりやすくてよいなと感じました。特に教育出版は、子どもたちがどう学習していくか、どう活動するかが分かりやすく、学習しやすいだろうなと感じました。あと、「見つけよう」「予想しよう」「計画しよう」などが、1つ1つ活動の扱いが丁寧でよいかと感じました。

佐藤教育長

ほかの方はいかがですか。

牛田委員

私も教育出版ですが、今、小泉委員から指摘されたとおり、活動の扱いがとても丁寧で、「結論」「振り返ろう」、それから「確かめよう」がとても充実していて、單元ごとに学習のまとめがしやすいな、そんな印象を持ちました。

片山委員

東京書籍と大日本図書はA4判の大きさなのですけれども、これを机に置いたときに扱いにくくないかなということが私の心配だったのですが、現場の先生方にお聞きしましたら、問題ない、置けますということだったので、そうしますと、図版が大きい、写真が大きいという点で、これらの教科書は、理科の学習を進めていく上で利用しやすいように思います。

さらに、大日本図書は、4年生の教科書だったと思いますけれども、秦野市の水無川が取り上げられていますので、秦野の子どもたちには興味が湧く、関心を持ちやすいと思います。

佐藤教育長

水無川は、雲仙普賢岳のあたりにも水無川ってあるみたいですが、これは本市のということですね。

飯田委員

少し見比べたのですが、例えば水の実験を見たときに、各者とも実験の行い方、そして説明が、本当に分かりやすいなという印象を受けました。その中でも、東京書籍の写真の取り上げ方が分かりやすくて、実験をする上で助かるだろうなという感想を持ちました。

あと、同様に、大日本図書は、電気の実験の写真が見やすくて、実験の手順が分かりやすいなと感じました。

それと、てこの働きの学習のところですが、各出版会社、豊富な写真で、実生活の様々な場面に、てこが利用されているということを紹介されていますが、やはり大日本図書が見やすくて分かりやすいかなという感じを私は受けました。

以上です。

牛田委員

啓林館と大日本図書についてコメントしたいと思います。

啓林館は、写真の列の配置が見やすくて、それから、文章構成やレイアウトを含めて全体的によくまとまっているなという印象を持ちました。

大日本図書については、6年生の巻末のまとめがとても分かりやすく整理されていて、加えて、「地球環境を守る」というページがあって、環境保全の視点から、子どもたちにとってもとても大切な1つの学習材ではないかと思いました。

佐藤教育長

ありがとうございます。

片山委員

大日本図書は環境保全以外にも書いてありますね。SDGs、防災教育、キャリア教育、伝統文化、科学技術等の資料を「りかの

佐藤教育長

たまたまばこ」として掲載されていまして。これも子どもたちによい学びのサポートになると思います。

理科の今の日本の現状で言えば、どの教科も大切なのですけれども、やはり理科の実験というのは今の時代のキーワードかと思っています。ほかはいかがですか。よろしいですか。

それでは、投票に移りたいと思います。投票用紙の配付をお願いします。

—投票—

佐藤教育長

では、開票をお願いします。

—開票—

教育指導課長

開票の結果を報告いたします。

小泉教育長職務代理「教育出版」、片山委員「大日本図書」、飯田委員「大日本図書」、牛田委員「大日本図書」、佐藤教育長「大日本図書」。

理科につきましては、大日本図書4票、教育出版1票、以上です。

佐藤教育長

大日本図書が4票、教育出版が1票。

それでは、開票の結果、小学校理科につきましては、大日本図書に決定します。

では、小学校生活について審議を行います。事務局から説明をお願いします。

教育指導課長

生活の発行者は7者です。そのうち、信州教育出版社からは、見本本が本市及び近隣市町には届きませんでした。

採択検討委員会の報告書では、次のような意見がございました。

光村図書の取り外しができる部分は、子どもがなくす心配もあるが、使いやすい。

ICTの扱いに差がある。市としてはタブレット端末を活用していく方向なので重視したい。

啓林館は、二次元コードを読み取った後の使い方が載っている。イラストと写真のバランスが考えられている。

3年生へのつながりは大切である。生活では、気づきから自分の生活につなげ、その後の理科や社会につながっていく。

以上です。

佐藤教育長

最初に、光村図書の生活を僕のところを持ってきてもらえますか。今、取り外しがあるということだったのですけれども。

すみません、動きながらになってしまいますけれども、いかがでしょうか。御意見ございますか。

小泉委員

子どもたちは、生活の時間が多分楽しいのではないかと思うの



ですけれども、写真が全面に出てくる教科書と写真とイラストを効果的に使っている教科書とに分かれているような感じを受けました。その視点で見ると、私は東京書籍の見開きいっぱいイラストが載っているページは、見え方も変わって効果的だなと感じました。

佐藤教育長

また、写真だけでは拾い切れないようなところをイラストで扱っているという感じもしたので、そういう意味でも、両方バランスよく載っている教科書がいいかと思いました。

片山委員

ありがとうございます。

ほかはいかがでしょうか。

私は、大日本図書がいいのかなと思いました。といたしますのは、情報をあまり詰め込み過ぎていないというか、よく整理されていますので、子どもたちにとっては使いやすい教科書であると感じました。

佐藤教育長  
飯田委員

また、子どもたちが無理なく振り返ることができる、「きもちマーク」というのかな、そういうものも工夫してあるなど思いました。

ほかはいかがですか。

生活は7者ということですが、私は、教育出版に触れさせていたただきたいと思うのですが、教育出版は、同じ場所のイラスト、まちの風景を春夏秋冬で描いているページがありました。子どもたちがそのイラストを見比べることで、四季の違いであったり、そしてまた、季節の行事であったりを楽しみながら違いを探ることができるのかなと感じました。

佐藤教育長  
牛田委員

以上です。

ほかはいかがでしょうか。

どの教科書も、それぞれにそれぞれのよさがあると私も感じています。その中で、東京書籍と啓林館について触れていきたいと思えます。

まず、東京書籍は、新1年生が安心して学校生活をスタートできるように、始まりからのことが、子どもにも保護者にも分かりやすく書かれているなという感想を持ちました。あと、巻末の「かつどうべんりちょう」は、学校生活を送る上でとても便利だな、そんな印象を持ちました。

啓林館についてですが、学習の流れが「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階構成になっていて、学習の見通しを持ちやすいのかなということと、巻末の図鑑がとても充実しているのが勉強になるのではないかと、そんな印象を持ちました。

佐藤教育長

以上です。

私は、最初に小泉委員が言われた東京書籍の見開きのイラストの部分は共感したのですけれども、今、光村図書を見てみたのですが、取り外しの部分がさっき話題に出ている、このイラストのほうもとてもすてきな感じがしました。1年生、生活というと、やはりイラストなどもすごく大事なのかなと思った次第です。

それでは、特にないですか。大丈夫ですか。

では、生活について投票を行いたいと思いますので、投票用紙の配付をお願いします。

—投票—

佐藤教育長

では、開票をお願いします。

—開票—

教育指導課長

開票の結果を報告いたします。

小泉教育長職務代理「東京書籍」、片山委員「大日本図書」、飯田委員「教育出版」、牛田委員「東京書籍」、佐藤教育長「東京書籍」。

生活につきましては、東京書籍が3票、大日本図書が1票、教育出版1票、以上です。

佐藤教育長

東京書籍3票、大日本図書1票、教育出版1票。

それでは、開票の結果、小学校の生活については、東京書籍に決定しました。

教育指導課長

続いて、小学校音楽ですね。説明をお願いします。

音楽の発行者は2者になります。

採択検討委員会の報告書では、次のような意見がありました。

教育出版は、手話を意識的に取り入れている。

教育出版の二次元コードは、作者の話など広く取り上げられていて、使いやすいのではないかと。

教育芸術社では、秦野市出身の指揮者が大きく取り上げられている。教育出版は、それよりは小さいが、同じ人物が掲載されている。

どの教科書も、同じ曲を扱っている。

以上です。

佐藤教育長

以上、説明が終わりましたが、御意見、御質問等がありましたらお願いいたします。

片山委員

2者ともにあまり差がないと思ったのですけれども、どちらかというとなのですが、教育芸術社のほうが、音符や休符の扱い方が少し丁寧かなと感じました。あと、音楽づくり教材という点で考えますと、吹き出し等で工夫の視点が明示されているというこ

佐藤教育長  
飯田委員

とで、音楽があまり得意ではない私にとっては参考になるように思いました。

楽しむ教科ですからね。

私も、両者ともそれぞれのよさがあると感じました。3年のリコーダーの学習部分を見ると、教育芸術社のほうが少し丁寧で分かりやすいなと感じました。そして、学習のまとまりごとに振り返りができる点もいいなという感想を持ちました。

以上です。

牛田委員

私は、教育出版について触れたいと思います。教育出版は、全体的に教科書の色調が明るくて見やすいなという印象を持ちました。あと、楽譜自体も、教育出版のほうが見やすく、学習内容も簡潔に構成されているのではないかという印象。

それから、教育出版の目次が音楽の内容別に5つに分かれていたのが、とても分かりやすかった、そんな感じを持ちました。

佐藤教育長  
小泉委員

ほかはいかがでしょうか。

教育出版のページ構成ですけれども、左ページに楽譜、右ページに考える場面とか、そういうページが構成されていて、とても見やすいなと思いました。

それから、全学年で英語の歌が取り上げられているところが、割と親しめるというところからもいいかと思いました。

佐藤教育長

やはりそれぞれ本当によく作られていて、2つ並べてみるとか3つ並べてみるとかという中での比較という部分もあるとは思うのですけれどもね。

私は、全学年で「さんぽ」の歌に合わせて手話が紹介されているのは、やはり手話をやってほしいという思いもあるので、そこは大変共感します。

ほかはいかがですか。よろしいですか。

それでは、音楽についても投票を行いたいと思いますので、投票用紙をお願いします。

佐藤教育長

—投票—

それでは、開票をお願いします。

—開票—

教育指導課長

開票の結果を報告いたします。

小泉教育長職務代理「教育出版」、片山委員「教育芸術社」、飯田委員「教育芸術社」、牛田委員「教育出版」、佐藤教育長「教育出版」。

音楽につきましては、教育出版3票、教育芸術社2票、以上です。

佐藤教育長

教育出版3票、教育芸術社2票ということで、開票の結果、小学校音楽につきましては、教育出版に決定いたしました。

続いて、小学校図画工作について、事務局から説明をお願いします。

教育指導課長

図画工作の発行者は2者になります。

採択検討委員会の報告書では、次のような意見がございました。

どちらも見やすい工夫がしてある。

日本文教出版は、文字情報がやや多い。

開隆堂は、写真がアップで大きい。

版画の指導について、開隆堂は滑り止めを敷く記載があり、日本文教出版は作業板を使うようになっている。中学校では作業板を使うことも多い。

日本文教出版は、作った作品を活用する視点がある。

以上です。

佐藤教育長  
飯田委員

説明がありました。御意見、御質問をお願いします。

私は、道具のことになるのですが、日本文教出版のほうですが、3・4年の上で、金槌とげんのうの違いを紹介しているのですね。3・4年の下で片刃、そして両刃ののこぎりの違いを紹介しているのです。似ている道具でも、それぞれの違いがあるということが、作品を制作するときにあわせて学べるという点では、日本文教出版の構成のほうがいいなという感想を持ちました。

以上です。

片山委員

私は時々模型工作に紙やすりを使うのですが、紙やすりを使う場合、番手が示されているのは大切なことと思います。この点では、開隆堂のほうが、番手が細かく、分かりやすく示されているので、実際に家庭、学校で準備をするときに困ることがないように思いました。

佐藤教育長

「げんのう」と「やすり」ということですね。

ほかはいかがですか。

小泉委員

開隆堂は、片づけとふりかえりの後に「あわせて学ぼう」という記述がありました。ほかの教科とのつながりを意識した作りになっているなと思いました。

また、作品の作り方だけでなく、「みんなのギャラリー」や「未来へつながる図画工作」というコーナーがとてもいいなと思いました。

牛田委員

2者それぞれについて言っていきたいと思います。

まず、開隆堂のページレイアウトがとても見やすく、学習の流れが分かりやすいなという感触を持ちました。また、加えて、

佐藤教育長

開隆堂は、学習のめあてに示されている文章表現が、分かりやすく、子どもたちが見通しを持って作業に取り組めるだろう、そんな印象を持ちました。

それから、日本文教出版ですが、こちらは、「教材と用具の引き出し」というコーナーが、分かりやすく整理されていて、子どもたちがやってみたいなという興味を引くような内容になっているのかな、そんな感触を持ちました。

先ほどの音楽もそうなのですが、こうやって2つのうちどちらかという、どうしても見比べてということになって。ただ、6者になっても5者になってもということですが、どの教科書も本当にすぐれた内容で、本当に我々も選ぶというと大変だなと思います。

ほかはよろしいですか。

では、投票に移りたいと思います。お願いします。

—投票—

佐藤教育長

それでは、開票をお願いします。

—開票—

教育指導課長

開票の結果を報告いたします。

小泉教育長職務代理「開隆堂」、片山委員「開隆堂」、飯田委員「日本文教出版」、牛田委員「開隆堂」、佐藤教育長「日本文教出版」。

図画工作につきましては、開隆堂3票、日本文教出版2票、以上です。

佐藤教育長

開隆堂が3票、日本文教出版が2票ということで、小学校の図画工作につきましては、開隆堂ということになります。

続いて、小学校の家庭に行きましょう。事務局、説明をお願いします。

教育指導課長

家庭の発行者は2者になります。

採択検討委員会の報告書では、次のような御意見がありました。

東京書籍は、動画でプロに聞くコンテンツがある。

開隆堂は、調理などについて、時間の流れが分かりやすい。

包丁の使い方について、どの教科書も左利きの記載がある。

食材の扱いについて、どの教科書も巻末に掲載されている。

以上です。

佐藤教育長

それでは、御意見、御質問をお願いしたいと思います。

牛田委員

2者それぞれによさがあるのですが、私は、あえて東京書籍について触れたいと思います。

東京書籍は、最初にある「成長の記録」や、随所に設定された

「確かめよう」などが、学習だけでなく、自分を振り返るといった意味でも大切なことではないかということを感じました。また、子どもに実際に問いかけるような「できたかな？」という表現が、とても具体的で分かりやすいし、やさしく響くのでいいな、そんな感じを持ちました。

佐藤教育長 確かにそうですね、「できたかな？」というやさしい表現ですね。

小泉委員 ほかはいかがですか。

開隆堂は、時間軸に沿って調理の実習の流れが説明されているのですけれども、また、東京書籍も時間の流れで紹介されておりますが、何か開隆堂のほうが見やすいかなという感じを受けてしまいました。

食物アレルギーについても扱っているということは、とても大事なことだなと思いました。

それと、家庭科では、学習したことを実生活につなげていく姿勢も大切だと思うのですけれども、開隆堂では、「生かす」「深める」場面が分かりやすく設定されていて、よいと思いました。

また、「生活に生かそう」という記入欄は、自分事として考える目安になるかなと思いました。

佐藤教育長 自分事ということですね。

飯田委員 私は、実生活というものを考えるときに、東京書籍の「家族で団らん」という表現はいいかと思いました。団らんというと、会社、そして仲間、友達の間ではなかなか使わない表現だと思うので、それぞれ家庭の事情、家族の形はあると思うのですが、家族の時間を大切にしてほしいという思いも伝わると感じました。

佐藤教育長 以上です。

今、飯田委員が言われたように、色々な形があった上での団らんという視点ですよ。分かります。

片山委員 ほかはいかがですか。

これは本当に2者、どちらもどちらという感じでわからなかったのですが、あえて言うと、東京書籍のほうが、実物大の写真を使って作業場面が掲載されていて、子どもたちが自分事として捉えられるのではないかという思いがありました。また、教材的にもバランスがよいと思います。

あと、開隆堂ですけれども、基本・基礎の定着がスモールステップでできるようにレベル別に制作例が掲載されている点、使われている点がよいと思いました。

佐藤教育長 色々とお意見をいただきましたけれども、いかがですか、ほか

にもう一回というところはないですか。よろしいですか。  
では、投票にいきましょう。投票用紙をお願いします。  
—投票—  
佐藤教育長 では、お願いします。  
—開票—  
教育指導課長 開票の結果を報告いたします。  
小泉教育長職務代理「開隆堂」、片山委員「東京書籍」、飯田委員「東京書籍」、牛田委員「東京書籍」、佐藤教育長「開隆堂」。  
家庭につきましては、東京書籍3票、開隆堂2票、以上です。  
佐藤教育長 東京書籍が3票、開隆堂2票ですので、開票の結果、小学校の家庭科につきましては、東京書籍に決定します。  
教育指導課長 続いて、小学校保健、教育指導課長、お願いします。  
保健の発行者は6者になります。  
採択検討委員会の報告書では、次のような御意見がありました。  
どの教科書もそれほど大きくは変わらない。  
時数の少ない教科なので簡潔なものでよい。  
ノートが必要ないように教科書に記入欄があるとよい。  
過ぎてしまうと風化してしまうので、新型感染症について多めに触れていることは重視したい。  
不安や悩みの調査について、東京書籍は独自に調査しており、大修館は内閣府の資料を掲載している。  
以上です。  
佐藤教育長 以上の説明ですが、新型感染症ですか、そのあたりがポイントになるかと思いますが、御意見、御質問等ありましたらお願いします。  
片山委員 やはり新型コロナウイルスというのが関係してくるので、この関係で言いますと、くしゃみやせきでどのくらい飛沫が飛ぶのかということ詳しく扱っているのは大修館と光文書院だと思います。飛沫の様子が分かるということは、新型コロナウイルスだけではなくて、飛沫感染が関係するインフルエンザや風邪の予防という指導に最も有効ではないかと思います。  
佐藤教育長 私も大修館を見ましたけれども、メディアでよく見る「富岳」の映像が出ていましたね。また、インターネットの扱いなども、大修館はよかったかと思いましたけれどもね。どのような健康被害があるのかをしっかりと示すことは大事だと思っています。  
ほかはいかがですか。  
小泉委員 私は、5年、6年生にある不安や悩み、けがの手当て、心の発達のところを見たときに、光文書院は分かりやすくまとめられて

佐藤教育長  
飯田委員

いてよいなと思いました。また、日ごろの生活の中で119番のかけ方、通報の仕方とか、AEDについてなど、ほかにも掲載されている教科書はあるのですけれども、現実には即した内容だなと思いました。

分かりやすさですかね。

私も光文書院なのですが、現実には生かしてという視点でいくと、光文書院が、毎日の時間の終わりに学んだことを生かそうという活動が設定されていましたね。そして、学習した知識を実社会、実生活で生かす力を育てるためにはいいのかなという感想を持ちました。

以上です。

佐藤教育長  
牛田委員

ほかはいかがでしょうか。

6者になるのですが、採択検討委員会の意見にもありますが、どの教科書もよくできていて、大きな差異はないように思いました。その中で、やはり採択検討委員会の中でも触れられていたところの教科書の記入欄という視点で見ると、東京書籍の記述欄が、適度にあるのかな、適量かなという印象を持ちました。保健は時間数が少ないので、記述欄があまり多過ぎると負担になるという点が心配ですので、その点が東京書籍の記述が適量だったかなと、そのように指摘しておきます。

飯田委員

そういう意味では、学研は記述する欄が多いという感じを持ちました。先生方が教材研究される段階で取捨選択しながら、どう活用するかが大切かなという感じを持ちました。

以上です。

佐藤教育長

私は、保健体育なので、保健の授業を増やすとどうなのかと考えるのですけれども、やはり専門家ではないというか、小学校の先生が活用するという点では、今に合った授業というのをこの教科書を使ってどうやっていくのか、先生方の工夫も期待したいところですがね。

では、よろしいですか。

では、投票にいきましょう。お願いします。

—投票—

佐藤教育長

お願いします。

—開票—

教育指導課長

開票の結果を報告いたします。

小泉教育長職務代理「光文書院」、片山委員「光文書院」、飯田委員「光文書院」、牛田委員「東京書籍」、佐藤教育長「大修館」。



佐藤教育長

保健につきましては、光文書院3票、大修館1票、東京書籍1票、以上です。

教育指導課長

光文書院3票、大修館1票、東京書籍1票ですから、小学校保健は、光文書院に決定しました。

続いて、小学校英語にいきましょう。

英語の発行者は6者になります。

採択検討委員会の報告書では、次のような御意見がありました。動画は字幕が出ない設定にできるものがよい。

英語では、コミュニケーション能力を培うため、インタビューに答えるのもよい。

書き込みもよいが、書かなければならないとなると教科書が使いにくくなるのではないか。

70時間みっちりなくてもよい。余裕のあることも大切である。

中学校とのつながりも大切。中学校は、小学校での学習内容をよく把握して指導している。

以上です。

佐藤教育長

以上が説明だったのですけれども、やはり中学校の前倒しにならないというのが大事かと思いましたが、いかがでしょうか。

牛田委員

私は、6者の中で三省堂について触れたいと思います。

三省堂は、ページレイアウトに規則性がある、どのページを開いてもまとまっているなという印象を持ちました。4領域の活動のバランスがよく整っていて、ユニット構成がよくて、写真も見やすいし、小学生にとっては学びやすい環境になっているかな、そんな感じがしました。

佐藤教育長

三省堂を持ってきてもらってもいいですか。

飯田委員

私も英語に関しては、中学校へのつながりという観点で見ると、三省堂は、中学校見学に行くというストーリーがあったんですね。そして、中学生になったらしたいこと、そして考えるという流れがよいなという感じを受けました。そしてまた、子どもたちは、自分事に置き換えて主体的に取り組めるのではないかという感想を持ちました。

あと、啓林館の後ろのほうに「会話を楽しむフレーズ集」というのがあったのですが、これは、実際にコミュニケーションなどをとるときに活用できそうだなという感想を持ちました。

以上です。

佐藤教育長

ほかはいかがですか。

片山委員

私も、軽いコミュニケーション能力を培うという視点から見ますと、三省堂の「My dictionary」にある「教室で使

う英語」というのが非常にいいと思いました。英語を使ってどのように授業が進んでいくのかが具体的に分かるというのと、絵も付いていますし、実生活や授業で起こり得る場面ごとに先生や友達とのコミュニケーションのとり方が学べるのではないかと思います。

佐藤教育長　　そうですね、これ、そのまままちで使えるというか、そういうページになっていますね。

　　　　　　　　ほかはいかがでしょうか。特によろしいですか。

　　　　　　　　英語のほうで、小学校の段階で大切にしたいのは、まず耳で聞いたり、実際に話したりということだと思います。その観点から見て、身近な生活場面で実際に使うフレーズは重要であると。今、片山委員もおっしゃられたのは、その辺りかと思うのですが、いかがでしょうか。よろしいですか。御意見なければ。

牛田委員　　やはり外国語学習では、聞く、話すということがとても大事ではないかと思うのです。聞いたことを理解できる、話したことが相手に伝わる。これは、外国語を学ぶ上での醍醐味ではないかということですね。このような体験ができるということは、やはり私は魅力だと思います。

　　　　　　　　以上です。

小泉委員　　私は、書く量のバランスで見たときに、書く量が多過ぎると、英語への入り口として、やはり拒否反応を示すお子さんがいるのではないかという心配があります。その点で、教育出版は、書き取りのところが厳選されているので、英語に親しみながら授業が進められるかと思いました。

　　　　　　　　学習全体の流れや教科書の構成として見たときには、三省堂が分かりやすく、学習も進めやすいのではと感じました。

佐藤教育長　　どうでしょう、ほかに御意見があればということですが、大丈夫ですかね。よろしいですか。

　　　　　　　　それでは、英語についても投票を行いたいと思います。投票用紙の配付をお願いします。

　　　　　　　　—投票—

佐藤教育長　　では、お願いします。

　　　　　　　　—開票—

　　　　　　　　開票の結果を報告いたします。

　　　　　　　　小泉教育長職務代理「三省堂」、片山委員「三省堂」、飯田委員「三省堂」、牛田委員「三省堂」、佐藤教育長「三省堂」。

　　　　　　　　英語につきましては、三省堂5票、以上です。

佐藤教育長　　それでは、5票ということですので、開票の結果、小学校英語

につきましては、三省堂に決定いたしました。

では、最後に小学校特別の教科道徳について審議を行います。お願いします。

教育指導課長

特別の教科道徳の発行者は6者になります。

採択検討委員会の報告書では、次のような意見がありました。

光文書院は教材が多い。選択肢が色々あったほうがよい。

話し合って考えることはよいが、発信に慣れてきている子どもたちには、改めて物語や自伝を通して学んでほしい。

最近の話題がどの教科書にもちりばめられている。

自分に引きつけて考えられる題材が必要。

情報モラルは大人でも難しい。ある程度明確な線引きも小学生には必要ではないか。

道徳的な価値が様々あるが、重点を置くところが分かりやすいものがよい。

学習したことを生活に返していくことを考えると、教材が豊富で色々な選択肢があったほうがよい。

以上です。

佐藤教育長  
飯田委員

では、御意見、御質問をお願いします。

今回の検討委員会の報告にはなかったのですが、たしか4年前の採択でも話題になったと思うのですが、学研の教科書で、秦野にゆかりのある二宮尊徳が取り上げられています。有名な勉学の話ではなくて、わらじづくりを取り上げていて、村人のために行動した二宮尊徳を通して、誰かのために行動する大切さ、そしてまた、自分に何ができるかを考えることができるのではないかと思います。

以上です。

佐藤教育長

そうでしたね。4年前もそういうお話があって、議論されたと思います。秦野市に関連する教材を扱っている、それだけではないのですけれども、そこは大切にしたいなというのはあります。だからといって、それを全部というわけにもいかないとは思いますが、そのあたりの判断ですね。

いかがでしょうか。

牛田委員

私がとても印象に残ったのは、学研の6年生の最後のところで「栄光の架橋」を紹介しているのですね。この「栄光の架橋」ですが、メロディーがとてもすばらしいのですが、それに加えて、歌詞の内容がまたすばらしいのですね。卒業を控える6年生が、この「栄光の架橋」の歌詞に目を向けて、色々なことを感じるものがたくさんあると思うし、また、夢に向かってじっくりと考え

佐藤教育長

るような、そんな活動になっていけばいいかなと、そんな印象を持ちました。

そうですね。卒業期は大事ですからね。

ほかはいかがでしょうか。

片山委員

私も学研が少し気になりました。学研は、たしか4年前はワークと2つに分かれていたと思うのですけれども、それを今回改善されたのかなと見ていまして、ワーク的な書き込みとか別冊ノートがないのですが、それがかえって先生方の自由な発想を生かした授業展開につながるように思いました。目の前の子どもたちに合った授業を展開するために、これまで先生方が行ってきたそれぞれの教材研究を生かしていくことができるのではないかと思いました。

佐藤教育長

やはり目の前の子どもたちを見て、カスタマイズするということですかね。

そのほかいかがでしょうか。

小泉委員

私は、光村図書の道徳の始まりのページが分かりやすく、道徳で何を学ぶかの導き方がよいなと思いました。

あと、皆さんが触れている学研の教科書は、子どもたちに親しみのあるキャラクターを生み出した漫画家の生き方や人気の職業等、子どもたちの関心が高い教材が掲載されているなと思いました。

ほかの出版社の方々も、現在のことを取り入れながら、色々な教材を入れてくださっているなという思いはしました。

佐藤教育長

やはり、それぞれのコンテンツは優秀だなと私も思っていました、あと、キャラクターなども、先ほど光村図書の話を出しましたけれども、やはり報徳サミットを本市が開催していて、私は北海道の豊頃町にも行かせていただいたのですが、二宮町というところ、教育委員の皆さんも行かれましたよね。北海道にも二宮町というのがあるというのは感動したので、そういう意味で言うと、報徳サミットに我々も参加しているということは大きいかなと思いますけれどもね。

どれもコンテンツとしては非常に優秀なのですけれども、決めなければいけないということですので、投票に移りたいと思います。お願いします。

—投票—

佐藤教育長

では、開票をお願いします。

—開票—

教育指導課長

開票の結果を報告いたします。

佐藤教育長

小泉教育長職務代理「学研」、片山委員「学研」、飯田委員「学研」、牛田委員「学研」、佐藤教育長「学研」。

特別の教科道徳につきましては、学研5票、以上です。

それでは、開票の結果、小学校特別の教科道徳につきましては、学研に決定いたしました。

これまで各種目別に御審議いただきましたが、これで全て終了いたしました。再三、私のほうでお話しさせていただいていますけれども、どの教科書も非常にすぐれた内容で、世界的に見ると、日本の学校教育は非常に優秀だという評価をいただいている中で、その優秀さを形づくるというか軸になる教科書の優秀さを改めて私も感じました。

13種目全ての採択が終了いたしましたのですけれども、事務局に一覧表を作ってください、それを配付した上で採決をしたいと思います。事務局で議案としての資料を作成しなければいけませんので、時間を若干いただきたいと思います。

では、暫時休憩、約15分間休憩したいと思います。

—休憩—

佐藤教育長

それでは、議案第13号「令和6年度に使用する小学校の教科用図書の採択について」、ただいま御審議いただいたものを一覧表にいたしました。説明をお願いします。

教育指導課長

それでは、御審議いただいた結果を議案第13号として報告いたします。

令和6年度に使用する小学校の教科用図書について、種目、発行者の順で報告いたします。

国語「光村図書」、書写「光村図書」、社会「教育出版」、地図「帝国書院」、算数「啓林館」、理科「大日本図書」、生活「東京書籍」、音楽「教育出版」、図画工作「開隆堂」、家庭「東京書籍」、保健「光文書院」、英語「三省堂」、道徳「学研」、以上です。

佐藤教育長

ここで確認しますけれども、現在使っている教科書と変わった教科はどれになりますか。

教育指導課長

国語、書写、理科、保健です。

佐藤教育長

分かりました。

それでは、以上でございますので、採決に移ります。

議案第13号「令和6年度に使用する小学校の教科用図書の採択について」、原案のとおり決することで御異議ございませんか。

—異議なし—

佐藤教育長

よって、議案第13号は原案のとおり可決されました。

教育指導課長

続いて、議案第14号「令和6年度に使用する中学校の教科用図書の採択について」、提案理由の説明をお願いします。

令和6年度に使用する中学校の教科用図書の採択について、お願いいたします。

中学校教科用図書につきましては、無償措置法第14条により、令和3年度から令和6年度まで4年間は継続して同一の教科書を採択しなければならないこととされています。

令和3年度から本年度に関しまして、発行者等の問題もなく教科書が配布されており、来年度が4年目でございます。よって、令和6年度の中学校教科書は、本年度と同様に、次のように報告します。

国語「東京書籍」、書写「東京書籍」、社会・地理的分野「帝国書院」、歴史的分野「帝国書院」、公民的分野「東京書籍」、地図「帝国書院」、数学「啓林館」、理科「啓林館」、音楽・一般「教育出版」、器楽合奏「教育出版」、美術「日本文教出版」、保健体育「大修館」、技術家庭・技術分野「東京書籍」、家庭分野「東京書籍」、外国語英語「三省堂」、特別の教科道徳「教育出版」、以上です。

佐藤教育長

それでは、ただいまの提案について審議に入りますが、御質問ないしは御意見があればお伺いします。

—特になし—

佐藤教育長

特にないですか。

それでは採決に移ります。

議案第14号「令和6年度に使用する中学校の教科用図書の採択について」は、原案のとおり決することよろしいでしょうか。

—異議なし—

佐藤教育長

よって、議案第14号は原案のとおり可決されました。

続いて、議案第15号「令和6年度に使用する学校教育法附則第9条による教科用図書の採択について」、提案理由の説明をお願いします。

教育指導課長

令和6年度附則第9条本についてですが、他の教科用図書と大きく性格が異なるものであります。

ここで説明させていただく教科書は、主に特別支援学校及び特別支援学級で学習をしている児童生徒が使用するものであります。児童生徒によっては、知的発達のおくれや障害の状況によって、在籍する学年の教科書は、その児童生徒の日ごろの学習活動に沿わない場合があります。こうした状況の児童生徒に対して、特別に編集されたものや一般図書を提供して、その児童生徒の状

況に合わせた教科用図書の使用を認めるものです。

手続的には、小中学校の特別支援学級の担任が、保護者と話し合い、必要があれば、児童生徒の実態とともに必要な図書を選定し、教育委員会に書類で報告します。これを受けて、選定した図書が本当にその児童生徒の教科用図書としてふさわしいかどうか、教育委員会の指導主事が確認し、資料を作成いたします。

この資料をもって教育委員会会議で承認された場合、児童生徒が来年度使用できる教科用図書に認定され、来年4月に提供されることとなります。

以上です。

佐藤教育長

それでは、審議に入ります。

御質問、御意見があればお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

佐藤教育長

—特になし—

こちらもよろしいですか。

それでは、採決に入ります。

議案第15号「令和6年度に使用する学校教育法附則第9条による教科用図書の採択について」は、原案のとおり決することで御異議ございませんか。

佐藤教育長

—異議なし—

よって、議案第15号は原案のとおり可決されましたが、この附則第9条について、教科用図書のこういった意義を、先ほど教育指導課長から話もありましたけれども、保護者との了解のもとに特別の教科書を使うわけですから、自立活動もしくは各教科の学習に有効に使うように、各学校にしっかり伝達をお願いしたいと思います。

そのほか何かございますか。

佐藤教育長

—特になし—

大丈夫ですか。

それでは、長時間にわたりありがとうございました。以上で臨時教育委員会会議を終了いたします。

どうもありがとうございました。